

盲導犬総合支援センターは
「盲導犬応援プロジェクト」の
活動により、盲導犬ユーザーが
安心・安全にそしてもっと
楽しく歩ける社会を
目指しています。



盲導犬ユーザーへの
見守り・声かけを
よろしくだよ！

盲導犬総合支援センター
公式キャラクター
もうどう犬 エルクン

声かけパンフに
込めた想いは
こちらの
QRコードで
ご覧いただけます。



JOYFUL
HONDA

見守ってくれてありがとう

でも
あなたの **ひとこと** で

もお〜つと/ハッピー



盲導犬応援プロジェクトとは

1口10000円の応援

盲導犬総合支援センター

盲導犬ユーザーが楽しく
外出できる支援活動

1 声かけ缶バッジを
盲導犬ユーザーに
プレゼント



2 声かけパンフを
一般の皆さまに
配布



3 盲導犬ウェルカム店に
エルくん熊手ステッカーを
配布



活動の詳細は公式HPで
ご覧いただけます。

盲導犬応援プロジェクトへのお問い合わせ先



／ みつけた！私にできること。／
一般社団法人
盲導犬総合支援センター

横浜市都筑区茅ヶ崎南5-2-22-2F
TEL:045-949-0323 FAX:045-949-0327
<https://goguidedogs.jp>

盲導犬応援プロジェクトへのご支援はこちら

盲導犬応援プロジェクト

盲導犬
応援
プロジェクト



制作：一般社団法人盲導犬総合支援センター
監修：公益財団法人日本盲導犬協会

このパンフレットは株式会社 ジョイフル本田の協力のもと作成されました。

もうどうけん 盲導犬と盲導犬ユーザー（使用者）は、どのように歩いているの？



盲導犬って見たことはないけど、
行きたいところへ連れて行ってくれる
頭のよい子たちなのよね！

ちょっと待ったですよ！
ぼくたちにできることは
この3つだよ！

盲導犬にできる3つのこと

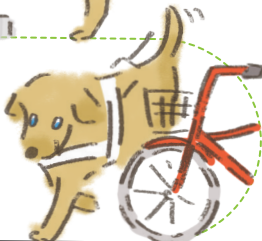
1 かど
角を
教える



2 だんさ
段差を
教える



3 しょうがいぶつ
障害物を
よける



盲導犬が
しない
こと

- ×行きたい所までの道を教える
- ×信号の色で止まったり進んだりする
- ×レジ待ちの列が進んだことを知らせる



盲導犬ユーザーはどのように歩いているのか ユーザーさんにお話を聞いたよ！



はじめての場所に行く時は、
出かける前に地図を自分の
頭の中に入れます。
そして盲導犬が教えてくれる
情報と頭の中の地図で
答え合わせをしながら歩くのです。
(盲導犬ユーザー・浅見さん)

たとえば2つ先を左に曲がったところにある
カフェに行く時には…



盲導犬ユーザーが

こまる状況は
さまざま！

ユーザーさんが迷うと
ぼくたちも一緒に
迷ってしまうんだよ！



横断歩道では人の足音や
車の音を頼りにして渡るので、
信号の色が分かりにくい。

電車の車内で
空いている席や場所に
気づきにくい。

列の進み具合が
分かりにくい。

盲導犬
ユーザーを
見かけたら

>>>

そっで見守り「お困りかな？」と思ったら、
お手伝いの声かけをよろしくだよ。
この中にお手伝いの方法が、書かれているよ！



ここからスタート！

—ステップ1—

もうどうけん
盲導犬を連れた方
お手伝い
しましょうか？



—ステップ2—

どのようにご案内
しましょうか？



—ステップ3—

では、歩きます

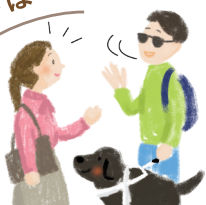


—ステップ4—

ここで失礼します



！！！！
こんな時は…



「お手伝いはいらない」と言われたら？

人を待っているだけだったり、いつも通る道だったり、
お手伝いがいらない場合もあります。
そんな時は「お気をつけて！」と見送って、
また声かけの気持ちを持っていたけると嬉しいです。

お手伝いができるか不安…

自分が知らない場所だったり、急いでいたり、
最後までお手伝いができない場合もあります。
そんな時は、今できるお手伝いを伝えていただければ
大丈夫です。

声かけのポイント

- ☑ 声をかける相手は、盲導犬ユーザー。
- ☑ 盲導犬ユーザーの横、もしくは前に立って、声をかけましょう。
※真後ろなど、盲導犬ユーザーの体の向きがかわる方向から声をかけると、
進行方向が分からなくなってしまいます。
- ☑ 手を引く、ハーネスをつかむことはしないでください。
※おどろいてバランスが取れなくなることがあるため、とてもキケンです。

手引き誘導が必要な場合

ひじ、かたを持ってもらうなど、方法を盲導犬ユーザーに聞いてください。
注1：目の見える方が、目の見えない方、見えにくい方を誘導して歩く方法

不要な場合

▶ ステップ4へ

青信号になったら教えてほしい、お店の入口を知りたいなど。
その場合は、盲導犬ユーザーが希望するお手伝いをお願いします。

道の状況を教えましょう

「止まります」「（右に）曲がります」など声に出しながら歩くと安全です。
段差の前では止まり、「上り（下り）です」と声をかけてください。
また「ゆっくり（速く）歩きましょうか？」と聞き、
盲導犬ユーザーの速度に合わせることも大切です。

お手伝いが終わったら

何も言わずその場から居なくなるのではなく、声をかけてください。
「お礼を言いたかったのに、相手が居なくて残念だった」という
盲導犬ユーザーの声もありました。

盲導犬ユーザーが教えてくれた うれしかった声かけエピソード

こちらでもたくさんの
エピソードを紹介しています！



地下鉄で

電車が来るのを待っていたら「電車が来たので乗りましょう」
「ここから乗車口です」と声かけしてくれました。
車内で立っていると、他の方が「席を空けてくれましたよ」と
教えてくれました。席を空けて下さった方が声をかけられ
なかったのだと思います。多くの方の親切のリレーがとても
うれしかったです。（金田さん）



病院で

診察券や保険証など手渡すものがたくさんあります。
返していただく時、盲導犬がいるため両手が空かず、
一度に受け取ると手から落ちて分らないこともあります。
そんな時、落とし物を教えていただき、助かりました。
また、ひとつずつ手渡していただいたこともあり、
こちらとてもありがたい気配りです。（杭迫さん）



買い物で

マスクが無いころ、忘れて出かけてしまいコンビニに
行きました。そこで他のお客さまに「何かお探しですか？」と
声をかけられ、その方がコンビニや他のお店と一緒に
探してくれたのです。どこにも無くて最後には一枚分けて
くれたのですが、私のために時間を使って案内してくれて、
心から感謝、感謝、感謝です。（三宅さん）



番外編

「犬とてもいい顔をしているね、お互いがベストパートナー
であることが見ていて分かる」と駅で声をかけられ、とても
うれしかったことがあります。
犬と人の両方を見てくれていることを感じ「ベストパートナー」
という言葉がまっすぐ心に届いて、今でも力になっています。
自分にとっては言葉の金メダル。（櫻井さん）

